

## 第9分科会 自立と共生 社会との連携・協働

### 研究主題 特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と 学校段階等間の接続・連携の推進

#### 趣旨

今日、全ての国民が相互に人格や個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合いながら共生する社会の実現が求められている。学校においては、全ての子供たちが各自の能力を生かし、共に生活する中で、互いに認め合い尊重し合う心を育むことが重要である。とりわけ、特別な支援を要する子供一人一人の教育的ニーズに応え、将来の自立に向けての基礎を養っていかなければならない。そのために、校長は自ら特別支援教育に対する理解を深めるとともに、教職員の共通理解や関係機関との連携に基づく支援体制の充実を図っていくことが大切である。

また、近年、子供を取り巻く社会環境の変化から、基本的な生活習慣の乱れや規範意識の希薄化など、健全な成長に関わる様々な課題が生じている。このような状況の改善を図っていくためには、学校・家庭・地域が目標を共有し、それぞれの役割と責任を自覚した取組を展開していくことが必要である。さらに、「小1プロブレム」「中1ギャップ」と呼ばれる異校種間の接続上の課題も依然として存在する。

校長は、保・幼・小・中学校間のスムーズな接続を図り、子供たちの連続的な発達を意識した取組や教育環境づくりをより一層推進する必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップのもと、子供の自立を図るための特別支援教育の推進、及び子供一人一人の将来を見据えた家庭・地域との連携や異校種間の円滑な接続を推進するための具体的な方策と成果を明らかにする。

#### 協議題

- ① 子どもの自立を図る特別支援教育の推進
- ② 家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進

#### 提案者

長崎県南島原市立大野木場小学校 山外 誉  
大分県豊後大野市立朝地小中学校 弓削 直幸